

39 期 2023-2024 年度 浜名湖ロータリークラブ週報

例会場：浜名湖レークサイドプラザ 〒431-1424 静岡県浜松市北区三ヶ日町下尾奈 200 TEL・FAX 053-524-1177
E-mail hamanako@hamanako-rc.com HP <http://hamanako-rc.com>

例会日：毎週火曜日 12:30~13:30

会 長：中村 哲也 幹 事：中尾 有希子 公共イメージ委員会委員長：近 藤 茂

第 1748 回例会 2023 年 11 月 7 日 (火) 曇 VOL.39 週報 No.13

点鐘：中村 哲也 会長 SAA：野本 康比古 ソング♪君が代・奉仕の理想

本日のプログラム： 創立記念例会・研修リーダー担当プログラム

本日のゲスト： 豊橋北ロータリークラブ 匹田 雅久 様

会員数 38 名 / 免除会員数 0 名 / 計算総数 38 名 / 本日の出席数 33 名 / 暫定出席率 86.84%

会長挨拶 * 中村 哲也



今日はリスクを取れない、日本人、日本国家についてお話しさせていただきたいと思います。

IM、40 周年の会場を浜名湖競艇ではなく浜松グランドホテルにした事もリスクを回避して無難な決定をしたということだと思います。浜名湖競艇でやるには日程やケータリング等、多少のリスクはあるのですが、あまり深く追求することなくリスクをとってまで浜名湖競艇でやることはない、IM は地区の事業なので浜名湖らしさは捨てても無難にやるという決定です。チャレンジング派の私としては残念で、私の人望の無さも影響してるとはいえ、正に典型的な日本人らしい決定です。それはそれで仕方がないと思っていますが、リスクにどう向き合うか。日本人はできるだけリスクを取らないことを良しと考える人が多いようで、調べてみますと 9 割の日本人の意識だそうです。リスクをとっても現状変更しよう、チャレンジしようというのは 1 割しかいないそうです。日本の国もリスクを取りたがらない「リスク回避社会」とも「リスクゼロ社会」とも言われる臆病な体質が染み付いてしまっているのが今の日本です。リスクを取らなければ変革はできませんし、イノベー

ションも生まれません。日本の生産性の低さの根源、失われた 30 年は、リスクを取りたがらない病気のような国民性の存在が原因だと思います。なぜそんな国民性になってしまったのでしょうか。それは我々日本人は「正しいリスクの取り方」を教えられていないからだと思います。つまりリスクはヘッジすることもできるのにリスクについて語ったり、知ることを避けて来たんだと思うんです。そして誰も責任を取りたがらない国家国民であることにも起因しています。一方この正反対がアメリカ人です。子供の頃からリスクテイクとリスクヘッジの重要性を叩きこまれます。リスクを取った時に、初めて自分が持っていたものよりも大きなリターンが得られる、その発想ができるのは、「リスクとは何か」というコミュニケーションをちゃんと子供も大人も持っているからです。投資に対する考え方も日本とアメリカでは違います。投資はリスクだ、ギャンブルだと考えてしまう人が多いのが日本でしたが、最近は投資はリターンだと考える日本人も増えてきたので少しずつ日本人もヘッジしながら投資をするようになってきたことは歓迎すべきことだと思います。

リスクを取らない日本は経済が縮小していくだけではなく、技術革新も起こらず、気付かないうちにジリジリと疲弊していき、貧困に喘ぐ社会に向かっていきます。このままでは失われた 40 年 50 年になってしまうという「リスクを取らないリスク」を

知らなければなりません。このままいけば 20 年後はアジアの中で一番貧しい国になってしまいます。しかし、日本は安全だし、極端な貧富の差もなく皆と同じだからいいや、福祉も充実しているから今のままで良いと、つい安定を求めてしまうのです。現状が良ければ、これまでと違うことをやることにエネルギーを使いたくない。徳川家康が残した遺訓、士農工商の身分制度など、変化を避ける徳川 260 年を築いたので日本人にリスクを取らない DNA が染み付いてしまったのかもしれない。一度失敗すると再起が難しい日本の社会の仕組みも問題ですが、このままでは日本は衰退の一途をたどるのは目に見えています。

今後の日本が「イノベーション国家」へと変貌できる可能性を探るならば、今、「リスクとは何であるのか」をコミュニケーションできる環境を整える必要があります。そして思考としては過去の経験値で考え現在を生活している人ではなく、未来を考えて現在を生活している人を増やす必要があります。それができるような環境を作ることができれば、日本の若者達が 20 年後、30 年後の日本をなんとかかしてくれれます。そして前回お話ししたムーンショット計画も実現すると思います。今の若者の中には安定を求めず未来を考えリスクテイクできる人も増えてきているので期待したいと思います。以上会長挨拶といたします。

四つのテスト唱和 浅若 正識

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

11月のお祝い おめでとうございます。

会員誕生日祝： 中神 年成 11月 9日
小島 明良 11月 13日
酒井 健太郎 11月 17日
浅若 正識 11月 23日



配偶者誕生日祝： 野本 祐子 様 11月 9日
近藤 美保子 様 11月 10日
山本 えりか 様 11月 15日
中村 克枝 様 11月 16日

結婚記念日祝： 金子 貴洋 11月 5日
野本 康比古 11月 15日
浅若 正識 11月 16日
酒井 健太郎 11月 17日
菅沼 仁司 11月 22日
森 俊幸 11月 27日 (紅玉婚式)



幹事報告 * 中尾有希子



*配布物：

- ・1747 回週報
- ・ガバナー月信 11月号
- ・本日の卓話資料
- ・創立記念例会記念品

*回覧物：

- ・浜名湖 RC ゴルフコンペ出欠表

*その他：

- ・本日例会終了後、理事役員会を開催します。

委員会報告

国際奉仕委員会 委員長 中村 一壽



・KOKO まつり参加の件
11/26 (日) に KOKO まつりが開催されます。例年と同じように参加を予定しておりますので、多くの皆様のご協力をお願いいたします。

スマイル報告

中村哲也 豊橋北 RC 匹田雅久様、ようこそ浜名湖へ。本日の卓話よろしく願いいたします。妻の誕生日。

中尾有希子 11月となり、今年も残り2ヶ月となりました。本日は匹田雅久様の卓話です。匹田様、よろしく願いいたします。

小島明良 誕生日です。気力、体力はバッチリですが、精力がいまいちです。ありがとうございました。

浅若正識 今月は誕生日、兼結婚月です。健康に感謝して頑張ります。

中神年成 47才になりました。いろいろチャレンジしていきます。

酒井健太郎 誕生日および結婚月です。

近藤 茂 確実に一年一年が過ぎていくことを思い知らされます。是非長生きして欲しいと感じています。妻の誕生日。

野本康比古 奥さんの誕生日と結婚月を久しぶりに思い出しました。

菅沼仁司 結婚月。いつも妻に感謝しています。

森 俊幸 匹田様、本日はよろしく願いします。結婚月。

金子貴洋 結婚月です。今後とも、よろしく願いします。

中村一壽 匹田様、本日は卓話宜しく願いいたします。

穴水春男 前庭は秋です。松の葉が積っています。毎日の掃除が大変です。

白井繁充 講師の匹田先生、本日はご多用の処、ありがとうございます。39回目の創立記念日おめでとうございます。

杉山寿夫 本日の卓話、匹田先生、530運動の手引きお願いいたします。

本日のプログラム

【 創立記念例会・研修リーダー担当プログラム 】

卓話講師：豊橋北ロータリークラブ 匹田 雅久 様
演題「ロータリークラブと活動の紹介」



職業奉仕の考え方

職業奉仕という言葉が「職業」という「利己（自分向きの方）」と「奉仕」という「利他（相手向きの方）」の二つの相反するベクトルを持つ言葉を融合したものですから・理解がたい

職業を営む心と奉仕の心は同じものだから、柔らかに一緒に重ね合わせたのが職業奉仕という言葉です



530運動環境協議会

ゴミゼロ

・設立 1975年 昭和50年11月

・発起人 夏目久男・野澤東三郎

・設立目的

恵み豊かな環境を次の世代に引き継ぐため、530運動の普及及び実践活動並びに各種啓発活動を通して、環境美化及び資源の有効活用に対する市民意識を高め、もって環境に配慮したまちづくりの実現に寄与する。

530運動のスローガン



自分のゴミは、自分で持ち帰ろう

ゴミを拾うことで、ゴミを捨てない心を育む



プログラム案内

11月21日(火) ロータリー財団担当プログラム
具栄作名誉会員による卓話。

11月28日(火) 特別休会

12月5日(火) 社会奉仕担当プログラム